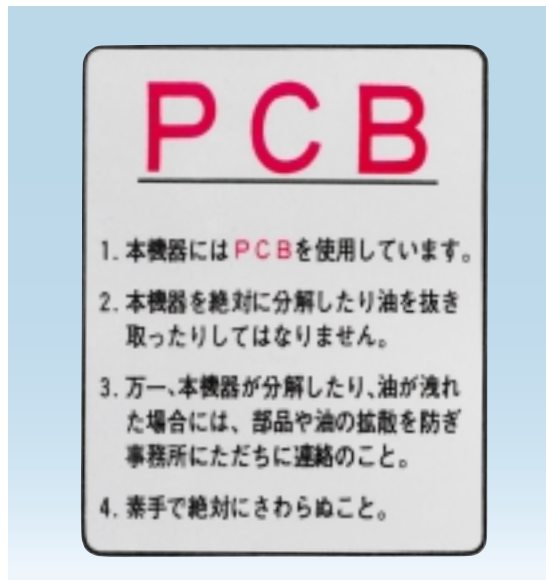


PCB使用電気機器の管理状況

PCB使用電気機器の管理については、今後も厳重な保管を継続すると共にPCB特別措置法に対応し、使用中の機器について2005年度までに全廃し、無害化处理については、2010年度を目標としています。

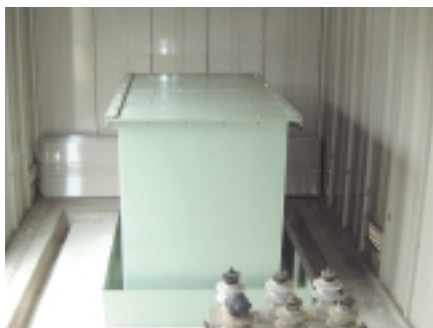
	届出事業所数	使用中	保管
クボタ単体	19	175台	578台
関連会社	11	12台	90台
合計	30	187台	668台

全事業所・関連会社(生産部門・非生産部門)調査結果



使用製品添付ラベル

PCB保管庫



地下水汚染管理状況

トリクロロエチレンについては、2工場で使用していましたが、筑波工場では2001年11月に全廃致しました。使用工場の地下水は環境基準値をクリアしており問題はありません。

浪速分工場については都市部に位置しており、消防法上の関係で代替が困難ですが、管理を強化するとともに、全廃に向けた取組みに努めています。

事業所名	使用物質名	使用期間	年間使用量 (2001年度)	地下水測定値	環境基準値
筑波	トリクロロエチレン	1993~2001	0.9トン	不検出(<0.0001mg/l)	0.03mg/l
浪速	トリクロロエチレン	1993~2001	8.4トン	不検出(<0.002mg/l)	0.03mg/l



観測井戸



代替洗浄機(筑波工場)

労働安全衛生

安全で健康に安心して働ける職場を目指して

当社は、『安全最優先』の理念の下、『人命尊重』の観点から、労働災害や職業性疾病のない安全で健康に安心して働ける職場づくりを推進しております。

当社の安全衛生管理は、中央安全衛生管理と事業場安全衛生管理(製造部門・建設工事部門)に分け、『安全衛生規程』を基本において、1973年度からスタートした5カ年毎の『長期災害減少計画』と年度毎の安全衛生指針に基づき、安全文化を醸成する『仕組みづくり』と『人づくり』を重点課題として推進しています。

又、労働安全衛生マネジメントシステムにつきましては、昨年の筑波工場に引き続き、本年3月に鹿島工場においてOHSAS18001の認証を取得しました。

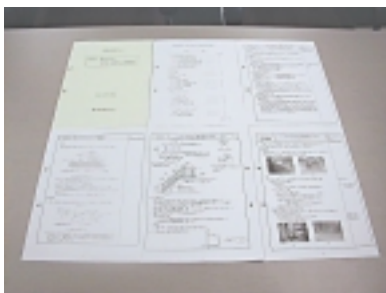
製造部門の取り組み

『仕組みづくり』の点から、リスクアセスメント手法の導入によるリスク低減活動と機械設備の本質安全化を推進しております。

『人づくり』の点では、教育研修を積極的に行うことにより、従来の単に法律を守るだけの活動から従業員の安全を配慮する活動へとレベルアップすべく、取り組んでおります。

又、各工場における安全衛生管理活動の強化を図る為に安全衛生パトロールを実施し、安全衛生管理の更なる向上に取り組んでおります。

設備の本質安全化の基準となる『設備安全基準』



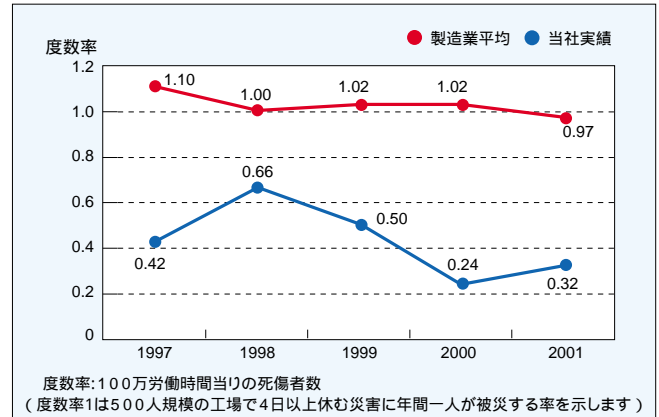
現在、設備への挟まれ巻き込まれ、高所からの墜落転落、爆発火災の防止についての安全基準を策定済みです。

安全衛生パトロールの活動状況



クボタ全工場に対して、安全衛生の視点から、パトロールを行い、危険な箇所については、改善を指導しております。

事業所の休業災害度数率の推移



建設工事部門の取り組み

『仕組みづくり、人づくり』の観点から、設計基準の策定・運用及び教育研修、建設工事現場への安全衛生パトロール等の実施により、事業部による店社管理機能の強化、作業所の統括管理の徹底を図って、災害の撲滅に努めております。

建設工事安全衛生パトロールにおける指導風景



メンタルヘルスへの取り組み

心の健康に関する社会的な関心が高まる中、メンタルヘルスケアへの取り組みが求められています。メンタルヘルス問題の早期発見と適切な対応を徹底するためにメンタルヘルスに関する正しい知識を社内報や研修会を通じ、全従業員に対して、積極的な啓発活動に取り組んでおります

社内報での特集記事

